



▶ 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数 100株

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主さまは、下記の電話照会先にご連絡ください。

- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
- 株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-176-417
(ホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部

- 公告方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL
<<http://www.ichinenhd.co.jp/>>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株主さま向けアンケート 株主の皆さまの声を聞かせてください

当社では、株主の皆さまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 9619

いいかぶ 検索 Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。 **ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を差し上げさせていただきます**

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

ICHINEN HOLDINGS

前へ、もっと、前へ。

IR REPORT

第50期 中間報告書

2011年4月1日から2011年9月30日まで

東証・大証1部 コード:9619



株式会社 イチネンホールディングス

(東証・大証1部コード:9619)
〒532-8567 大阪市淀川区西中島四丁目10番6号
TEL. 06-6309-1800 (代表)
Facebook公式ページ <http://www.facebook.com/ichinengroup>

▼携帯サイトはこちら



株式会社 イチネンホールディングス

▶ 株主の皆さまへ



前へ、もっと、前へ。

景気の変動に左右されない
持続性のある成長を目指します。

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当第2四半期累計期間の業績は、連結売上高が23,670百万円(対前年同期比0.6%減)、営業利益1,887百万円(対前年同期比23.8%増)、経常利益1,745百万円(対前年同期比31.6%増)、四半期純利益1,080百万円(対前年同期比18.1%増)でした。

連結売上高が前年同期と比べやや下回ったのは、車両の小型化に加え、東日本大震災の影響による新車の納期遅延に伴い、再リース率がより一層、上昇したこと、並びにケミカル事業において、主力製品の燃料添加剤及び船舶用燃料添加剤の売上数量が減少したことが主な要因となっています。

利益面につきましては、前期に引き続き、燃料販売事業で取り組んできた自動車用燃料給油カードの販売価格適正化が大きく寄与しました。また、リース契約終了後の車両は中古車市場で販売しますが、震災による需要増を背景として好調に推移したことも利益増の要因です。

当社グループは、前期に創業80周年の節目を迎え、このたびグループビジョン「前へ、もっと、前へ。」を策定いたしました。挑戦心を持って前に進む姿勢こそが、景気等の外的要因に左右されない持続的な成長を可能にすると考えております。株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

代表取締役社長 黒田 雅史

第2創成期にふさわしい成長軌道に向けて 新規事業へ積極果敢にチャレンジします。

Q 新たにグループビジョンを策定されたことにつきまして、その意図をお聞かせください。

A 当社グループは、ケミカル事業に代表されるように、M&Aを推進してきた経緯があります。前期に迎えた創業80周年、第2創成期のスタートという節目において、新たな歩みを開始するには改めてグループ丸となる必要があると考え、約1年かけてグループビジョン「前へ、もっと、前へ。」を策定いたしました。これは将来においても時代の変化に対応する企業体であり続けるための、決意を込めたステートメントです。また、子会社も各々ビジョンづくりを実施しており、当期中には策定が完了する予定です。

現在、当社グループのコア事業は、転換期を迎えていると考えています。ガソリン車からハイブリッド車・電気自動車(EV)への移行は、自動車メンテナンス受託事業を担う全国の自動車整備会社に対してEVに対応する技術と設備が求められているほか、自動車用燃料給油カードを扱う燃料販売事業については、当然、直接的な影響が懸念されます。また、ケミカル事業では、主力である燃料添加剤が化石燃料の使用に付随する製品であり、自然エネルギーへの転換の流れの中、新たな主力製品の開発が急務です。

幸いにして、自動車にしてもエネルギーにしても、移行期とはいえ、いま「前へ」動き出せば間に合う時間的な余裕が残されており、新規事業への取り組みを加速させること

が最重要課題であることはいうまでもありません。

Q 新規事業の育成・開発につきまして、どのような取り組みを行っていますか。

A 新規事業につきましては、当期の5月からカーシェアリング事業の営業を開始いたしました。現在45台が稼働しており、利用率の向上や会員獲得のノウハウを蓄積するため、当期は台数の拡大にはこだわらず、



代表取締役社長
Masashi Kuroda
黒田 雅史

会員獲得に注力し、早期軌道に乗せることを目標としております。

また、新規事業ではありませんが、事業の柱に育ちつつあるパーキング事業は、震災の影響があったものの、当第2四半期累計期間も順調に成長しており、管理件数・管理台数ともに前期末を上回りました。さらに、車体修理管理サービス事業も当第2四半期累計期間で黒字となっております。

今後の新規事業は、自動車やエネルギーといった分野にとらわれず、例えば水関連や福祉・医療関連など、市場そのものが拡大傾向にあり、後発であっても参入メリットのある分野を中心に幅広く検討し、条件が整えばM&Aも活用したいと考えています。10年先を目途に、現在のリース事業レベルに成長できるような新規事業が出てくれればと期待しております。

Q 新しいグループビジョンを踏まえて、これから注力される取り組みはありますか。

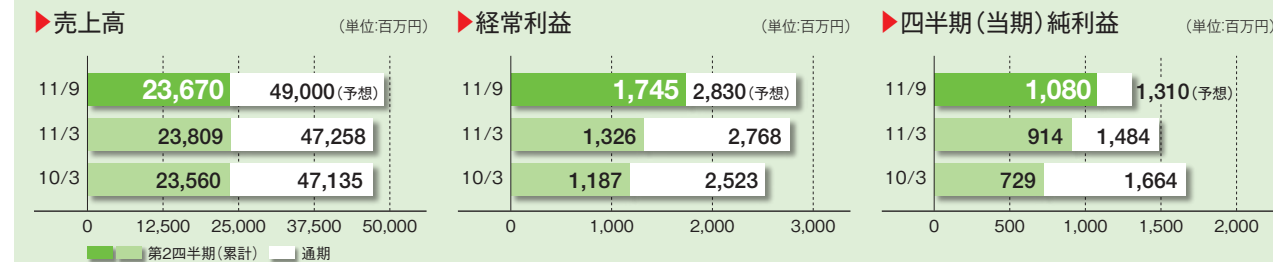
A 以前からの懸案事項で、事業の垣根を越えた営業活動や各事業間の情報交換など、この機会に横

断的な連携ができる仕組みを構築したいと考えております。当社グループの顧客基盤を活かして、事業会社間、部門間の相乗効果を発揮することで大幅な収益アップが期待できます。なお、株式会社イチネンでは地域別に営業本部を設けるなど、すでに横断的な営業活動が行える体制となっており、連携の仕組みが機能し始めています。

Q 今後の見通しをお聞かせください。

A 経営環境は依然として厳しい状況が続くことが予想されますが、リース事業も震災による新車の納車遅延が正常化しつつあるなど、各事業とも堅調な推移を見込んでおります。またタイの大洪水により自動車メーカーも一部被害を受けておりますが、現在のところ当社には大きな影響はないと予想しています。今後とも利益重視の体制は堅持しつつ、新規事業へのチャレンジを積極的に推進し、第2創成期にふさわしい新たな成長軌道を構築すべく邁進してまいります。

財務ハイライト

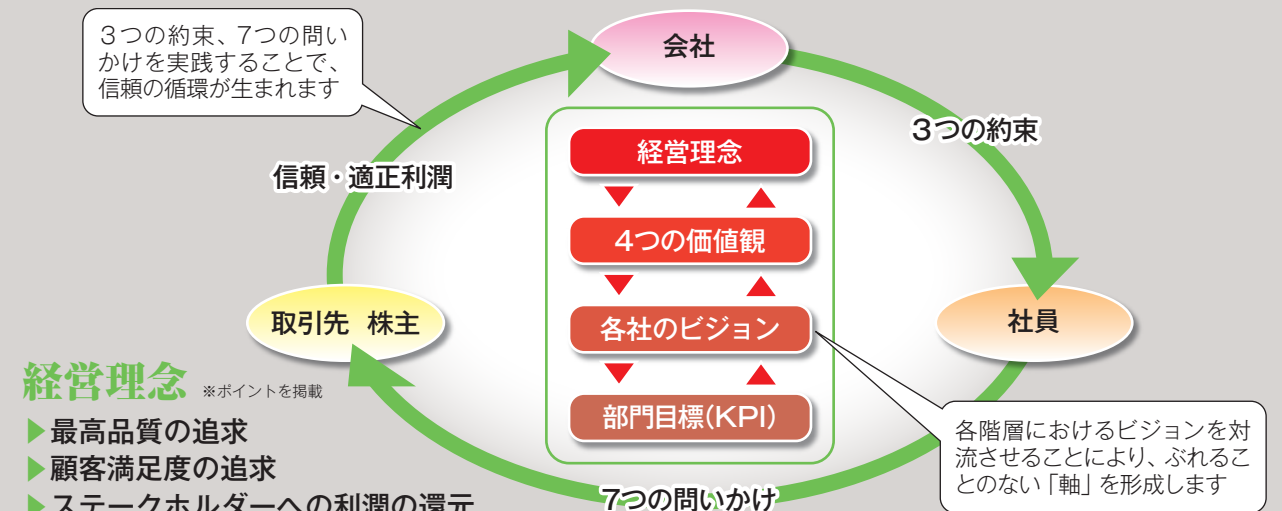


第2創成期として新たにグループビジョンを策定。

当社はこれまで、組織改編、M&A、新会社設立、ホールディングス体制への移行など、その姿をさまざまに変化させてきました。これに伴い、社員数の増加や、色々な価値観が入り混じる環境となっています。こうした中で、創業80周年を経てもなお、イチネングループらしさを失わず、これから先も変わらず、成長・発展し続けるためには、全員が会社の価値観を認識し、どのようなビジョンをもって成長を目指していくか明確にする必要があります。

前へ、もっと、前へ。

一步踏み出す力、それが新しい歴史を創ります。



経営理念

- ▶ 最高品質の追求
- ▶ 顧客満足度の追求
- ▶ ステークホルダーへの利潤の還元
- ▶ 社会貢献

4つの価値観

経営理念を具現化するために、グループ共通のビジョンとして、「事業」「人物像」「組織」「企業風土」を表す、4つの価値観をかかげます。

1. 事業を通じて、お客さまに便利と感動を提供する
2. 相手の立場に立ち、信頼される人になる
3. 環境の変化に柔軟かつ機動的に対応し、ローコスト経営を徹底追求する
4. 挑戦を是とし、皆がわくわくする自由闊達な風土を育てる

3つの約束

これから先も変わらず成長・発展し続けるためには、社員の皆さん全員の手を結集しなければなりません。そのために、会社は社員の皆さんに3つの約束をします。

1. 社員と家族の生活を全力で守ります
2. 一生懸命努力する人を応援します
3. 社員と共に挑戦し変化し続けます

7つの問いかけ

4つの価値観を追求するために、社員の皆さんは日々、7つの問いかけを実践してください。

1. あなたの仕事はお客さまに感動を与えられましたか？
2. お客さまと向き合い、お客さまの笑顔を見られましたか？
3. あなたは笑顔で輝いていましたか？
4. 今日は何に挑戦しましたか？
5. 情熱と思いやりをもって仕事をしましたか？
6. まわりの人と対話をしましたか？
7. 成長を実感できましたか？

▶リース事業

リース事業におきましては、中小規模の企業のみならず、大手企業を含むあらゆる車両需要先企業をターゲットに投資効率を重視したリース契約の増加に努めてまいりました。また、リース契約満了時における解約阻止に注力いたしましたが、東日本大震災の影響により新車入替時の納車が遅延した結果、再リース契約の比率が上昇いたしました。

この結果、2011年9月末現在リース契約台数は56,827台(対前期末比765台増)となり、リース契約高は98億1百万円(対前年同期比9.4%減)、リース未経過契約残高は431億48百万円(対前期末比1.2%減)となりました。

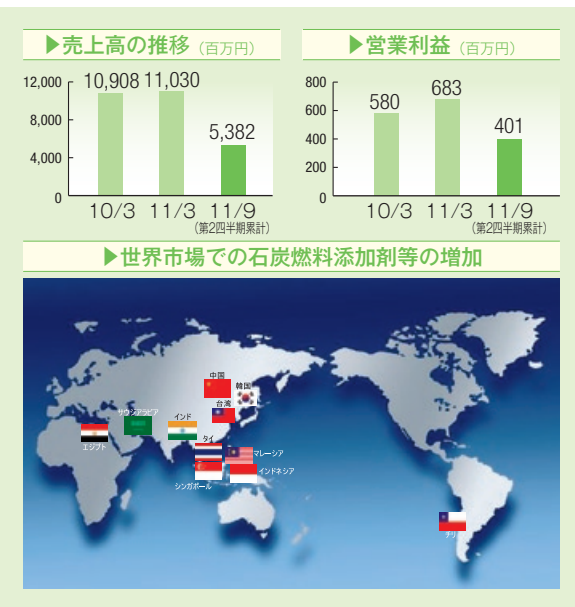
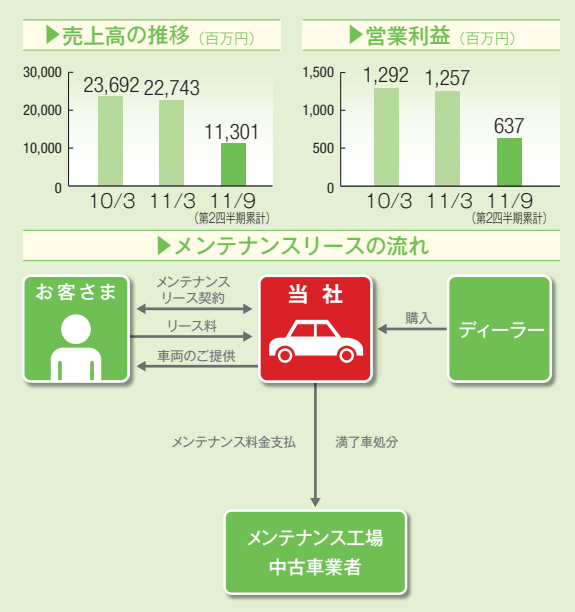
損益面では、低年式・走行過多車両の入替えを促進し、メンテナンスコストの抑制に注力し、採算販売の徹底により粗利益率の改善に取り組んでまいりました。また、リース契約終了後の車両処分については、東日本大震災の影響により中古車市場における需要が伸びたことから堅調に推移いたしました。しかしながら、新車入替時の納車遅延による再リース契約比率の上昇、並びにリース契約車両の小型化の影響は大きく、この結果、売上高は113億1百万円(対前年同期比2.3%減)、セグメント利益は6億37百万円(対前年同期比2.7%増)となりました。

なお、2011年1月より新規参入いたしましたカーシェアリング事業については、早期に軌道に乗せることを目指し、会員獲得に努めております。

▶ケミカル事業

ケミカル事業におきましては、工業薬品関連では、主力製品の燃料添加剤、船舶用燃料添加剤ともに売上数量は前年同期より減少しました。一方、化学製品関連では、防水型携帯電話部品関連でスマートフォン向けの受注台数が前年同期より増加しました。また、機械工具商向け化学品等についても堅調に推移しました。

この結果、売上高は53億82百万円(対前年同期比0.8%減)、セグメント利益は4億1百万円(対前年同期比32.1%増)となりました。



▶自動車メンテナンス受託事業

自動車メンテナンス受託事業におきましては、当社独自の強みである高点検率、営業品質を追求しながら、契約台数、契約残高の増加に努めてまいりました。また、メンテナンスコストの増加要因となる低年式・走行過多車両の入替えを促進し、メンテナンスコストの抑制に注力し、不採算契約の改善並びに走行距離に応じた料金設定を行い、収益向上に努めてまいりました。

この結果、メンテナンス受託契約高は24億73百万円(対前年同期比2.3%減)、メンテナンス未経過契約残高は64億59百万円(対前期末比3.2%増)となりました。損益面では、引き続き徹底した不採算取引の改善を行いました。また中古自動車の販売が堅調に推移いたしました。これにより、売上高は38億59百万円(対前年同期比2.5%増)、セグメント利益は2億68百万円(対前年同期比55.8%増)となりました。

▶パーキング事業

パーキング事業におきましては、中長期的に安定した収益基盤を築くため、更なる駐車場数の拡大と引き続き不採算駐車場の採算改善を行い、駐車場個々の収益向上に努めてまいりました。

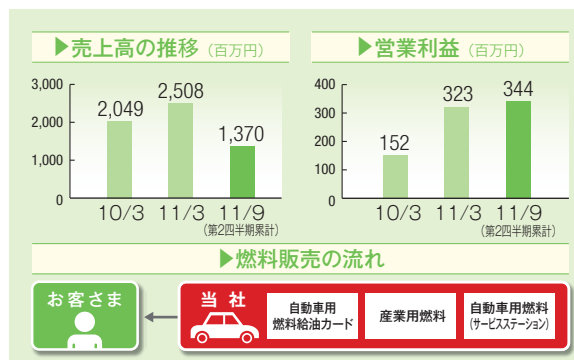
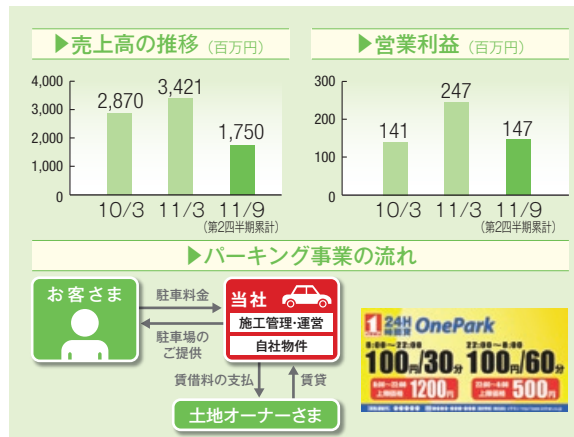
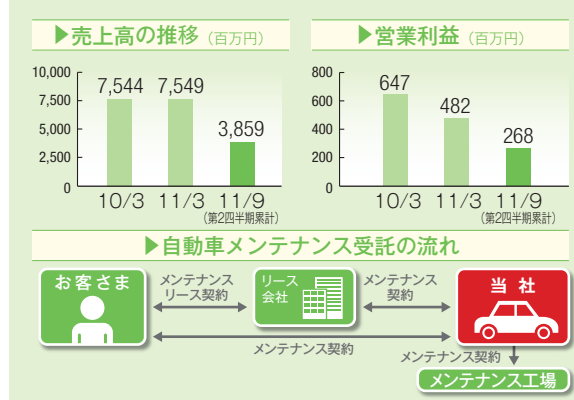
この結果、2011年9月末現在駐車場管理件数は602件(対前期末比4件増)、管理台数は16,034台(対前期末比866台増)となりました。なお、第1四半期連結会計期間より、駐車場管理受託の管理件数19件(対前期末比増減無し)及び管理台数1,337台(対前期末比426台増)を含めております。

損益面では、既存駐車場の収益改善策として、周辺店舗への駐車チケットの販売、月極契約の募集や駐車料金の見直し等、売上拡大策を講じるとともに、運営コストの低減を図ってまいりました。また、病院附帯の駐車場の新規管理受託契約を含め、新規駐車場が堅調に増加いたしました。

この結果、売上高は17億50百万円(対前年同期比1.9%増)、セグメント利益は1億47百万円(対前年同期比26.8%増)となりました。

▶燃料販売事業

燃料販売事業におきましては、主力である自動車用燃料給油カードは、付加価値の高いサービスを顧客に提供し、他社との差別化を図ることにより、新規顧客獲得並びに販売数量の確保に注力いたしました。損益面では、自動車用燃料給油カードの販売価格の調整を適時・適切に実施いたしました。また、引き続き大口取引先との取引内容を大幅に改善いたしました。この結果、売上高は13億70百万円(対前年同期比5.7%増)、セグメント利益は3億44百万円(対前年同期比45.4%増)となりました。



▶ IR活動報告

2011
5/242011
7/7会社説明会
(社)日本証券アナリスト協会主催2011
8/26・27

日経IRフェア STOCKWORLD

日経IRフェア
STOCKWORLD

▶ IR活動 下半期

東京 2011
11/7東京 2011
11/30大阪 2011
12/19会社説明会
野村IR主催

Topics

1

よりわかりやすく

ホームページを全面的にリニューアル!



7/29(金)に㈱イチネンホールディングスホームページをリニューアルいたしました。今回、ホールディングス体制後、初めてのリニューアルとなり約3年ぶりとなります。リニューアルの目的としては、

1. 当社の事業内容を分かりやすくし、少しでも多くの方に知っていただくこと
 2. 目的の情報に辿り着きやすいホームページにすること
- この2つに目的を絞って作業を進めました。リニューアル後のホームページ閲覧回数は順調に伸びております。

今後もさらに皆さまにご覧いただきやすいホームページを目指し更新してまいります。

Topics

2

もっとイチネングループを知ってもらいたい

フェイスブックをスタート!



このたびソーシャルネットワーキングサービスのFacebook(フェイスブック)にイチネングループのファンページを開設いたしました。Facebook(フェイスブック)は、全世界で5億人以上のユーザーを抱える世界最大のソーシャルネットワーキングサービスです。このファンページを通して、公式ホームページでは提供しきれない情報を発信し、当社を知っていただき、ファンを増やしてまいります。

ファンページでは、以下の情報を定期的に発信してまいります。

1. グループの支店/営業所の近隣情報(グルメ情報やご当地情報など)
2. 新設OnePark や 新設カーシェアリングステーション情報
3. 各事業会社のキャンペーン情報
4. その他、各種お得な情報

ぜひ「いいね」を押して当社のファンになってください。

▶ 四半期連結貸借対照表のポイント

(単位:百万円)

	前第2四半期末 2010年9月30日現在	当第2四半期末 2011年9月30日現在	前期末 2011年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	33,249	32,731	32,582
固定資産	44,611	45,324	44,905
有形固定資産	33,122	34,947	34,112
無形固定資産	5,942	5,473	5,745
投資その他の資産	5,545	4,903	5,047
繰延資産	65	47	57
資産合計	77,925	78,103	77,544
【負債・純資産の部】			
流動負債	27,866	27,279	27,457
固定負債	34,542	34,053	34,193
負債合計	62,409	61,332	61,650
株主資本	15,584	16,782	15,928
その他の包括利益累計額	△76	△21	△43
新株予約権	8	8	8
純資産合計	15,516	16,770	15,894
負債純資産合計	77,925	78,103	77,544

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

▶ 四半期連結損益計算書のポイント

(単位:百万円)

	前第2四半期累計 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	当第2四半期累計 2011年4月1日から 2011年9月30日まで	前期 2010年4月1日から 2011年3月31日まで
売上高	23,809	23,670	47,258
売上原価	17,852	17,421	35,466
売上総利益	5,957	6,249	11,792
販売費及び一般管理費	4,432	4,361	8,643
営業利益	1,524	1,887	3,148
経常利益	1,326	1,745	2,768
四半期(当期)純利益	914	1,080	1,484

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT ① [貸借対照表]

自己資本比率は、21.5%となりました。

POINT ② [損益計算書]

売上高につきましては、主力の自動車リース事業において、従来からの車両の小型化に加え、東日本大震災の影響による新車の納期遅延に伴い、再リース率がより一層、上昇したこと、並びにケミカル事業において、主力製品の燃料添加剤及び船舶用燃料添加剤の売上数量が減少したことにより、減収となりました。

営業利益・経常利益につきましては、自動車リース事業において、リース契約終了後の車両売却益が堅調に推移したこと、自動車メンテナンス受託事業において、契約台数、契約残高が順調に伸びたこと、燃料販売事業において、主力の自動車用燃料給油カードの販売価格の調整が適切に実施できたこと、ケミカル事業において、防水型携帯電話部品関連でスマートフォン向けの受注台数が着実な伸びを示したこと、並びにパーキング事業において、病院附帯の駐車場の新規管理受託契約を含めた新規駐車場が堅調に増加したことにより、増益となりました。

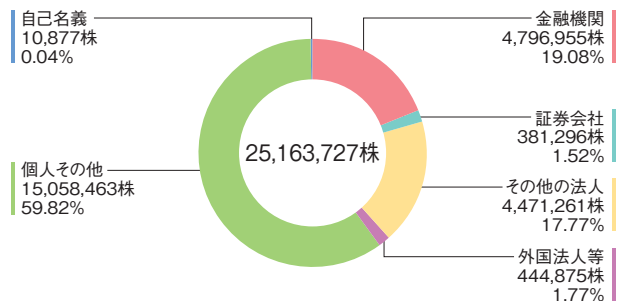
▶株式の総数 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
 発行済株式の総数 25,163,727株
 株主数 9,397名
 大株主

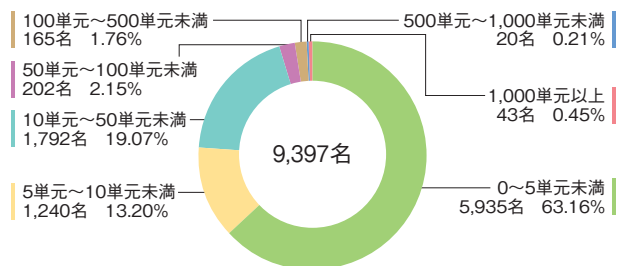
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
第一燃料株式会社	2,350	9.34
住友信託銀行株式会社	820	3.26
黒田 雅 史	753	3.00
黒田 和 伸	654	2.60
黒田 勝 彦	610	2.43
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	582	2.32
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	555	2.21
黒田 恭 年	486	1.93
黒田 倅 稔	472	1.88
日本生命保険相互会社	454	1.81

(注) 持株比率は自己株式 (10,877株) を控除して計算しております。

▶所有者別株式分布



▶所有単元数別株主分布



▶会社概要 (2011年9月30日現在)

商 号 株式会社イチネンホールディングス
 (ICHINEN HOLDINGS CO.,LTD.)
 U R L http://www.ichinenhd.co.jp/
 本店所在地 大阪市淀川区西中島四丁目10番6号
 創 業 1930年 (昭和5年) 6月1日
 会 社 設 立 1963年 (昭和38年) 5月7日
 資 本 金 2,529,135,586円
 従 業 員 数 連結 591名 単体 55名

▶取締役及び監査役 (2011年9月30日現在)

代表取締役社長 黒田 雅 史
 取締役副社長 黒田 勝 彦
 取締役専務執行役員 三村 一 雄
 取締役 影山 忠 広
 取締役 木村 平 八
 常勤監査役 奥田 弘 純
 常勤監査役 川上 伸 雄
 監査役 岸野 信 司
 監査役 中 室 修

▶グループ会社 (2011年9月30日現在)

株式会社イチネン
 株式会社タイホーコーザイ
 野村オートリース株式会社
 アルファオートリース株式会社
 株式会社イチネンパーキング
 イチネンBPプラネット株式会社
 株式会社イチネンカーシェアリング
 株式会社セレクト

株主優待情報

割当基準日/3月末日における持株数に対して
 下記の内容のおこめ券を進呈いたします。



持株数	内 容
100株以上 500株未満	全国共通おこめ券 2kg
500株以上 2,000株未満	全国共通おこめ券 5kg
2,000株以上	全国共通おこめ券 10kg

ホームページのご案内

当社のホームページで最新情報を発信しております。
 ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.ichinenhd.co.jp/>

イチネンホールディングス

TOPページ



IRサイトの一部



グループ経営計画

財務情報